

アンプ/エフェクト・プロセッサの人気シリーズ“POD”に、
「HX」ファミリーから継承したサウンドで瞬時にサウンドメイクを楽しめるモデルが登場
Line 6 アンプ/エフェクト・プロセッサ
『POD Express Guitar』 『POD Express Bass』

株式会社ヤマハミュージックジャパンは、ヤマハ株式会社の100%子会社である Yamaha Guitar Group, Inc. が開発した Line 6 ブランドのアンプ/エフェクト・プロセッサの新製品『POD Express Guitar』『POD Express Bass』を2024年5月に発売します。



『POD Express Guitar』（左）、『POD Express Bass』（右）

Line 6「POD」は、1998年の発売以来、その卓越したサウンド、ユーザビリティ、モダンなデザインから世界中の多くのギタリストに愛用され、Line 6ブランドの代名詞ともなっている製品ブランドです。

このたび発売する『POD Express Guitar』『POD Express Bass』は、非常にコンパクトな筐体に、市場でも高く評価されるプロセッサ「HX」ファミリーから継承した7種類のアンプ/キャビネットとルーパーを含む17種類のエフェクトを搭載したアンプ/エフェクト・プロセッサです。ユーザーインターフェースはシンプルな操作性を追求しており、中央のノブでアンプタイプを選択し、その周囲にあるエフェクト対応のノブを回すだけで、素早く簡単に音作りを行なえます。入出力端子には、ヘッドホン端子はもちろんのこと、録音用のオーディオ・インターフェースとしても使用できるようUSB Type-C端子なども装備。さらに3本の単三電池（付属）または9V電源アダプター（別売り）で動作するので、これ1台で気軽にギター/ベースの演奏を自宅で楽しむことができます。

<概要>

1. コンパクトな筐体と「HX」ファミリーから継承したアンプ/エフェクト
2. シンプルな操作性を追求したユーザーインターフェース
3. ギター/ベースを演奏したいときにすぐに使用できる機能性

品名	品番	希望小売価格	発売日
Line 6 アンプ/エフェクト・プロセッサ	POD Express Guitar	33,000 円（税抜き 30,000 円）	2024年5月予定
	POD Express Bass		

<主な特長>

1. コンパクトな筐体と「HX」ファミリーから継承したアンプ/エフェクト

『POD Express Guitar』『POD Express Bass』は、ギターバッグのポケットに収納できるぐらい非常にコンパクト（幅 92×奥行 130×高さ 56mm、重量 350g）な筐体ながら、市場でも高く評価されるプロセッサー「HX」ファミリーから継承した7種類のアンプ/キャビネットと、ルーパーを含む17種類のエフェクトを搭載しています。高品位なアンプ、エフェクトのサウンドを用いて、瞬時にサウンドメイクをお楽しみいただけます。

2. シンプルな操作性を追求したユーザーインターフェース

ユーザーインターフェースは、シンプルな操作性を追求したデザインを採用しました。中央のノブでアンプ/キャビネットのモデルを選択し、その周囲にあるエフェクトノブを回すだけでエフェクトを掛けられるので、ユーザーは自身が思い描くサウンドを素早く作り上げることができます。

また、中央のノブの周りにはマルチカラーLEDが点灯する7つのセグメントを用意しており、アンプノブを操作すれば選択中のアンプ・モデルを指し示します。さらに、ALT ボタンを押しながらエフェクターノブを操作すれば、選択中のエフェクトの掛かり具合を7段階で表示するため、現在のステータスを一目で確認することができます。

3. ギター/ベースを演奏したいときにすぐに使用できる機能性

両モデルは非常にコンパクトであることに加え、3本の単三電池（付属）または9V電源アダプター（別売）で動作するため、ポータビリティに優れています。本体にはステレオ・メイン、ステレオ・ヘッドホンの出力端子の他、エクスペッション・ペダル（別売）で音量操作したり、最大2台のフットスイッチ（別売）で他の機能をコントロールできる入力端子を備えています。さらにUSB-C端子も搭載しているので、レコーディングやモニタリングとして機能するオーディオ・インターフェースとしてもご利用いただけます。ギター/ベースと本製品があれば、自宅でもどこでも、弾きたいときにすぐに演奏できます。



<製品仕様>

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

<https://line6.jp/podexpress/>

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：川本

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

Line 6 インフォメーションセンター

Tel. 0570-062-808 (ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金)
